

ミャンマー・サポート・プラン活動内容

- 1:里親制度
- 2:保健衛生プロジェクト
トイレ・給水タンク建設
救急箱設置、手洗い・歯磨き指導
- 3:学校建設・修繕
- 4:女性自立支援・職業訓練校
「さくら専門学校」運営
「さくら制服を贈る」プロジェクト
- 5:物資支援
ノート、ボールペン、鉛筆、歯ブラシ、
ハンカチ、タオル、衣類、他
*支援物資は随時受け付けています。
- 6:日・緬文化交流会 姉妹結縁式
子供たちの手紙・絵画交換交流
- 7:ぞうりプロジェクト
- 8:いのちの教室(純潔教育・エイズ予防教育)
- 9:被災地支援(2008年・2015年)
- 10:図書設置



書写教室(チャウタン)

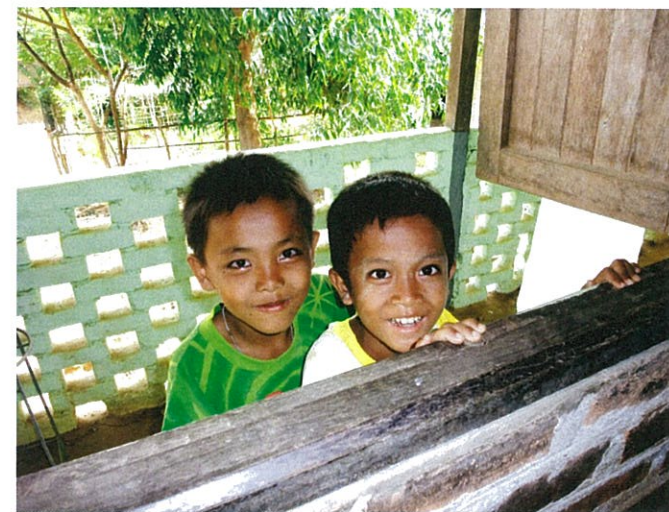
ミャンマー概要

国名	ミャンマー連邦共和国
面積	67万8500K m ² (日本の1.8倍)
人口	5,141万人(2014年)
首都	ネービードー
人種	ビルマ族(約70%)・135少数民族
言語	ビルマ語・英語・多数の民族語
宗教	上座部仏教(90%) キリスト教 他
政体	大統領制 共和制
GDP	1,307\$ (2016年)一人当たり



ミャンマー・サポート・プラン

= 里親制度ご案内 =



ミャンマーに遊びに来てね!

1. ミャンマーの教育現状

ミャンマーは、昔「ビルマ」と呼ばれ日本との関係も深く、知れば知るほど神秘的な信仰深い仏教国です。

ミャンマーの子供たちは、とても礼儀正しく、勤勉家です。

しかし、どんなに成績が優秀であっても貧しい家庭においては『児童労働』という形で子供たちが働き手となってしまい、学校に通うことができません。

ミャンマーの基礎教育は、日本の義務教育とは異なり、国からの補助も十分でないことも事実です。

就学率を見ても初等教育(小学校)では98%ですが、中学校では40%、高等学校では30%を切るのが現状です。



里親からの手紙を持って(太陽の家の里子)

2. 里親奨学金制度

ミャンマー・サポート・プランは、ミャンマーの子供たちの学校教育・環境整備支援の会として発足しました。

1994年より小中高校生を対象に里親奨学金制度を始めました。

当初は8名からのスタートでしたが、今迄に500名以上の里子を支援しています。

大学(医・歯・看護・教育・エンジニア・船舶・他)に進学する里子も増えてきました。

現在(2015年)3名の医者が誕生しています。

奨学金を寄付して下さる支援者(里親)と、支援される生徒(里子)は1対1の親子関係になり、写真・手紙の交換、年1回の訪問ツアーにより交流を深めて行きます。

「真っ暗な夜道を照らす、温かい月の灯り…」

と、里親をたとえる里子もいます。

里親奨学金制度は経済的支援だけでなく、精神的な面でも里子たちの大きな支えとなっています。教育を受ける機会ができることは、夢を現実のものとする大きなステップです。

是非、子供たちの夢をあなたの愛で叶えてください……。

【里親の資格】

ミャンマーの子供に対し教育のための奨学金を授与することが可能な18才以上の方

【里子の選抜】

経済的に困窮した家庭にありながら、勉強意欲のある子供を文部省、学校関係者が選抜します。

対象は小中高校生・大学生

【教育資金】 15,000円/年間

1:年間里子一人当たり

12,000円(学費、教科書、文房具、制服代等)

2:年間運営費

3,000円(通信費、翻訳料、授与式時交通費)

*医学部など一部学生は金額が異なります。

【支援期間】

里親の事情により支援期間は自由です。

【申し込み方法】

里親申し込み用紙(里親カード)にご記入の上写真3枚を添えてお申し込み下さい。

【連絡先】

『ミャンマー・サポート・プラン』

代表 吉松栄子(よしまつ えいこ)

〒123-0865

東京都足立区新田3-36-13-1005

080-5056-6104

eiko.myanmar-@ezweb.ne.jp